

令和4年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

図工

学年	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
1年	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>絵を描いたり、工作をしたりすることに9割の児童が意欲的に取り組むことができた。画材や材料の特徴を知り、使い分けの力を身に付けさせたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より作品のイメージが湧くような導入の工夫をする。作品例を示したり、どのように描きたいかのイメージを十分に膨らませた上で取り組ませた上で、道具の使い方のスキルを生かせるように指導していく。 ・様々な表現方法を、「楽しむ」経験を増やし、その面白さを認め合うことで表現力を磨いていく。
2年	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>絵を描くこと、粘土や工作等、意欲的に取り組む児童が多く見られる。一方で、テーマの作品を仕上げて満足する児童が見られる。作品の質を高めていくための表現技法や工夫等を身に付けて、自主的に取り組めるようにできることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を意欲的に制作することに加え、課題に応じた表現方法や技法など、事前に具体的な例示や方法を提示する。ICTの活用など視覚的な教具や具体物でイメージを捉えやすくし、制作の過程で実践していく。
3年	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>8割の児童が進んで絵や立体に表す活動に取り組むことができた。一方、気持ちの切り替えがうまくいかず、活動に向き合うまでに時間がかかる児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成イメージや、制作工程が分かりやすいように、ICTの活用や参考作品等の提示をして、見通しをもたせる。 ・児童の完成作品を電子黒板に投影し、称賛の場を設定することで、制作意欲の向上を図る。
4年	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>意欲が高く、楽しんで題材に取り組む児童が多い。鑑賞でも友達の作品のよさや面白さに気付き伝え合うことができる。さらに作品をよりよくするための工夫や、自分なりの表現方法を見つけて取り組めるようになるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法に幅がもてるように、ICT等を活用して、様々な種類の作品を提示したり、見本となる児童の参考作品を提示したりして、発想や表現の幅が広げられるようにする。
5年	<p>【知識・技能】</p> <p>題材の理解力は高く、さっと活動に入れるが、簡素な表現で終わってしまう児童がいる。じっくり活動に取り組み、自分なりの表現方法を見つけて、創造性を高めていけるようになるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項やこれまでの経験等を生かして取り組めるように、ICT等を活用し、様々な種類の作品を鑑賞させることで、造形的なものの見方や感じ方ができるようにする。また、表現に幅をもたせられるように、題材に応じて使用できる材料や道具を精選していく。
6年	<p>【知識・技能】</p> <p>毎時間のめあてを基に、意欲的に取り組む児童が多い。これまで学んできた技能を生かして取り組もうとする姿も見られた。道具を上手く扱える児童とそうでない児童と技能面での個人差が大きい。進度の差も大きく、時間内に作品を仕上げられない児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の見本となる作品やICTの活用、参考作品を提示し、造形的なものの見方や感じ方ができるようにポイントを押しさえ、表現方法の幅を広げられるようにする。 ・道具の使い方、制作の進め方等に課題がある児童には、個別の支援を行う。また、技能的な表現については、手本を示し、感覚的に捉えられるようにする。